



団塊世代消費研究会2014
オープニング・セミナー

シニア市場の変化を読み解く視点と手法 ～ライフコースとシナリオ分析～

青木 幸弘

(学習院大学)

これまでも、シニア市場は
団塊世代との関連で
様々に語られてきました。

団塊世代の加齢と共に、シニア市場は様々に語られてきた



2001年



2002年



2003年



2004年



2006年



2007年



2007年



2007年

団塊世代が55歳となった2002年当時は……



2001年



2002年



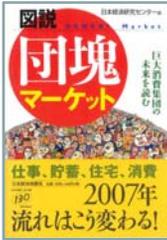
2003年



2004年

「シルバー」といった言葉は極めて限定的に用いられるようになり、代わって、「シニア」が多用されるようになる。更には、「エルダー」といった言葉まで登場する。だが、捉え方や物言いは違っても、団塊世代に焦点を当てている点では値は同じ(世代論)と言わざるを得ない。

団塊世代が定年年齢(60歳)に達する2007年当時は……



2006年



2007年



2007年



2007年

団塊の世代の大量退職が始まるとされた2007年が近づくにつれ、その退職金や退職後の時間を前提に消費が大きく膨らむという期待が生まれた。しかし、継続して就業せざるを得ない者も多く、期待はずれに。

近年、シニア市場への関心が
再び高まっています。

シニアの消費額と大手小売りのシニア・シフト

シニア消費は増加傾向にある
消費全体に占める割合

昨年個人支出の44%

シニア消費100兆円

旅行・スポーツ・テーマパーク
取り込みへ商戦活発

『日本経済新聞』(2012年1月21日)

大手小売り、シニアに照準

イオン 老眼鏡の専門店

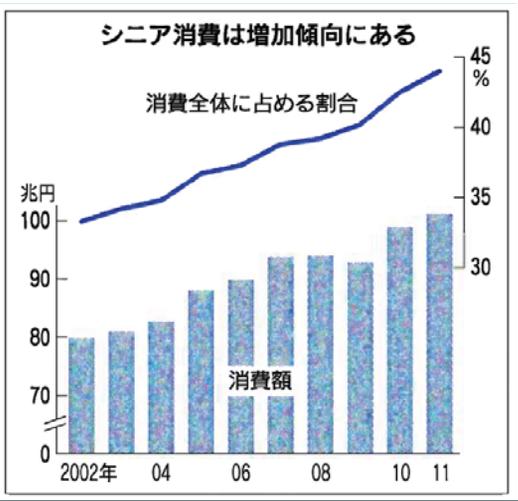
サンドラッグ 商品取りやすく

『日本経済新聞』(2012年3月29日)

『日本経済新聞』(2012年1月21日)

『日本経済新聞』(2012年3月29日)

「シニア消費100兆円」報道のインパクト



第一生命経済研究所の熊野英生首席エコノミストが、2011年の60歳以上の消費支出金額は101兆2000億円と推計(但し、この金額は過大推計であるとの指摘もある)。

Economic Trends
100兆円の高齢者消費の行方
～賃金より株・物価の影響を受ける～

熊野英生首席エコノミスト

『第一生命経済研究所』(2011年12月9日)

出所) 第一生命研究所経済調査部 (2011年12月9日)

シニア市場の多様性を無視した 単純は規模の議論では？

多様性(質)を無視した市場規模(量)の議論が先行していないか？

シニア消費 伸び鮮明
企業、市場発掘急ぐ

60歳以上の世帯 46%占める

消費に占める年齢層別の比率

60歳以上
(60~64歳と65歳以上の合計)

40~59歳

65歳以上

39歳以下
60~64歳

2000年 03 06 09 13
(注)2人以上の世帯、総務省の家計調査より
日程が作成

団塊世代の年齢移動を中心に
高齢者数が増大すれば消費に
占める比率も高まる。だが、その
中は極めて多様。

『日本経済新聞』(2014年1月9日2面)

シニア市場の「可能性」と「多様性」を考える①

市場規模の規定要因

典型的な想定・前提

購買人口

団塊世代が65歳の高齢期を迎える中で購買人口は急速に増大していく

購買能力

十分な資産や可処分所得を持ち、時間的にもゆとりがあって、且つ、健康で活動的な高齢者

購買意欲

医療や介護だけでなく、質の高い消費や経験的な消費に対して十分な意欲を持つ高齢者。

すべての高齢者が高い購買力を持っている訳ではない

購買力の源泉となる資源

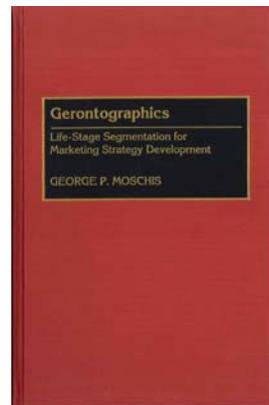
経済資源

時間資源

家族資源

健康資源

情報資源



Moschis (1996)

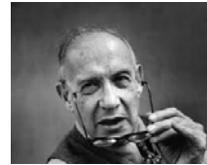
各種資源は制約条件ともなるが、加齢やライフステージによって変化していく
('Gerotographics」の必要性)

シニア市場は、経済の「グリーンランド」か、「暗黒大陸」か…



グリーンランドは、982年、赤毛のエイリクによって命名され入植が始まった。彼が、それ以前に発見し命名したアイスランドは、その名前のために入植希望者が現れなかった。このため入植希望者が多数現れることを願って「緑の島」と名付けられたとされる。

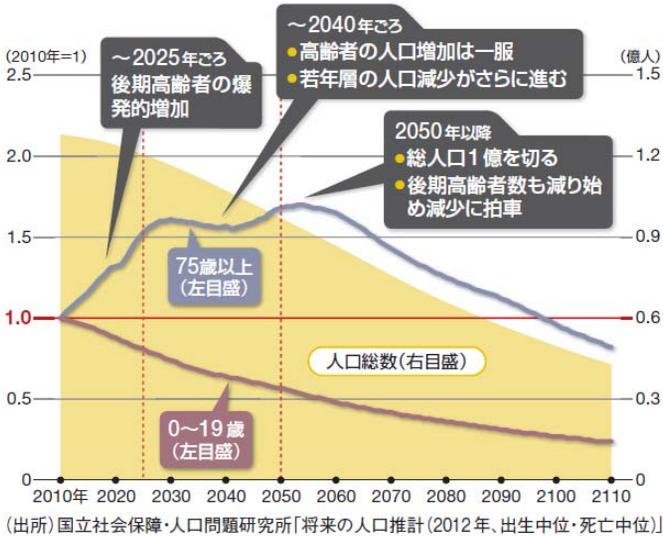
米国の著名な経営学者ドラッカーは、『Fortune』誌の1962年4月号に「経済の暗黒大陸」(Dark Continent of Economy)と題する論文を発表し、その中でわれわれはナポレオン時代の人々がアフリカ大陸について知っていた程度にしか「流通」に関して理解していないと嘆いた。



まずは過度な期待を持つことなく、的確に把握し、適切に分析する必要がある。

踏まえて置くべき幾つかの現実

人口減少下で進む構造変化(後期高齢者の増加)



出所)『週刊東洋経済』、2014年2月22号、47頁。

高齢化の4つのステージ

第1ステージ(2010年代前半) 団塊の世代が高齢者となる

2012年~14年の3年間に**団塊の世代**が65歳以上の前期高齢者となり、2010年代前半は、前期高齢者が後期高齢者を上回って増加する。

第2ステージ(2010年代後半) ディープな高齢社会の到来

2016年には、前期高齢者数が1762万人でピークに達し、2030年前後まで減り続ける。2017年には後期高齢者数が前期高齢者数を上回る。

第3ステージ(2020年代) 後期高齢者2000万人時代の到来

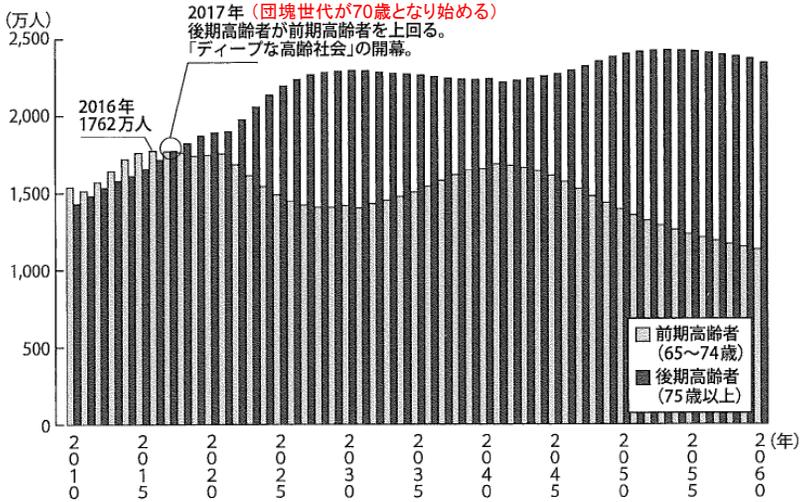
2022年からは**団塊の世代**が後期高齢者となり始め、2023年には後期高齢者が2000万人を超え、更に増え続ける。

第4ステージ(2030年代) 超高齢者1000万人時代の到来

2032年以降、**団塊の世代**が85歳を超え始め、2035年には85歳以上の超高齢者数が1000万人を超える。

出所) 根本重之(2013)『「ディープな高齢社会」ニッポンで稼ぐ』日本経済新聞出版社、15~20頁。

前期高齢者、後期高齢者の将来推計人口



データ出所:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」

出所 根本重之(2013)『「ディープな高齢社会」ニッポンで稼ぐ』日本経済新聞出版社、17頁。

昭和100年(2025年)が1つの節目に(団塊の世代が75歳以上に)

2025年、75歳以上が18%に

医出づる国 Q&A

医療費膨張、政策の転換点

2025年の社会保障給付費は150兆円に迫る

年	医療	介護	その他
2012年	50	10	10
2025年	100	20	10

(注)厚生労働省の公表資料をもとに作成

団塊の世代がすべて75歳以上の高齢者となる2025年は日本の歴史にとって大きなターニングポイントとなる。医療・介護給付費はじつは爆発的に増え続けている。そのペースが速い。医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。

○ 医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。医療費の膨張は、介護費の膨張を加速させている。

○ 介護費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。介護費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。介護費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。

○ 社会保障給付費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。社会保障給付費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。社会保障給付費の膨張は、医療費の膨張を加速させている。

『日本経済新聞』(2014年10月27日、38面)

物価

見えてきた昭和100年

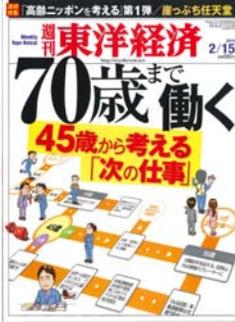
モノ・カネ・ヒト 均衡点探る

物価の均衡点を探る。モノ・カネ・ヒトの均衡点を探る。物価の均衡点を探る。モノ・カネ・ヒトの均衡点を探る。物価の均衡点を探る。モノ・カネ・ヒトの均衡点を探る。

『日本経済新聞』(2014年10月26日、1面)

週刊東洋経済では、「高齢ニッポン」というシリーズでの特集が組まれた

2014年2月15日号



継続就業の問題

2014年2月22日号



人口減少問題

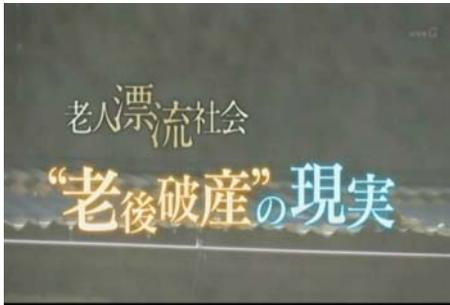
2014年3月1日号



シングル化問題

高齢化に伴う様々な問題・側面が掘り下げられつつあるのだが……

NHKスペシャル『老人漂流社会:老後破産の現実』



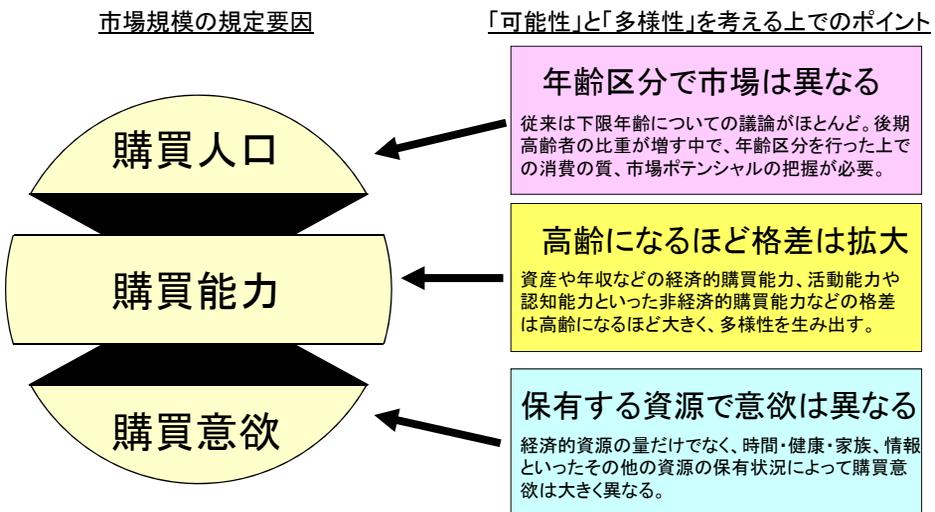
高齢者人口が3000万を突破し、超高齢社会となった日本。独り暮らしの高齢者の数は600万人。その半数、およそ300万人が生活保護水準以下の年金収入しかない。生活保護を受けているのは70万人ほど、残り200万人余りは生活保護を受けずに暮らしている。



NHK総合(2014年9月28日放送)

マクロ的な趨勢・構造変化を踏まえた ミクロ的対応の重要性

シニア市場の「可能性」と「多様性」を考える②



本年12月から
第2期団塊世代消費研究会を
スタートさせます。

第2期研究会のテーマは、
2025年、
激変する日本社会と
シニア消費を見通す

団塊世代が後期高齢者の年齢(75歳以上)に達する2025年
シニア市場と消費はどのように変貌するのか。次世代の消費
への影響も含めて検討していきます。

研究会における基本的な分析視点①

『団塊世代消費研究会』



団塊世代から見たシニア消費の今後を研究する会

<3つの切り口>

- ①「団塊世代を分析する」→「団塊世代で分析する」
- ②ジェンダーとライフコースに着目した団塊世代研究
- ③2025年をターゲットとしたシニア消費のシナリオ分析

本研究会における基本的な分析視点②

①「団塊世代を分析する」→「団塊世代で分析する」

➡ 依然として「団塊世代」は、「高齢社会」や「シニア消費」を富み解く上での鍵。その波動としての影響に着目して、シニア消費の構造変化を捉える。

②ジェンダーとライフコースに着目した団塊世代研究

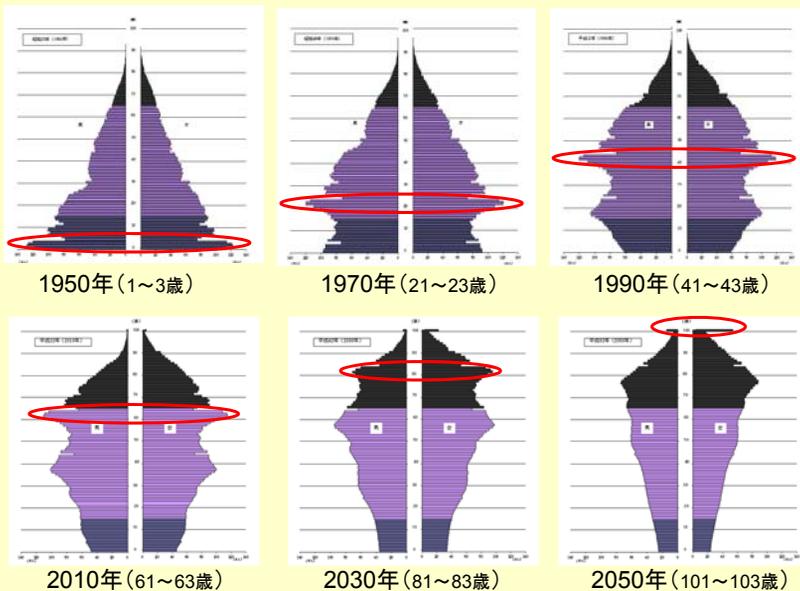
➡ ジェンダー不在の従来の団塊世代論に女性(妻)の視点(側面)を組み込み、且つ、ライフコース視点で団塊世代内の多様性を捉える。

③2025年をターゲットとしたシニア消費のシナリオ分析

➡ マクロ的な趨勢と構造変化を踏まえて、シニア消費の変化を見通し、ミクロ的なマーケティング対応を考えるためにシナリオ分析を行う。

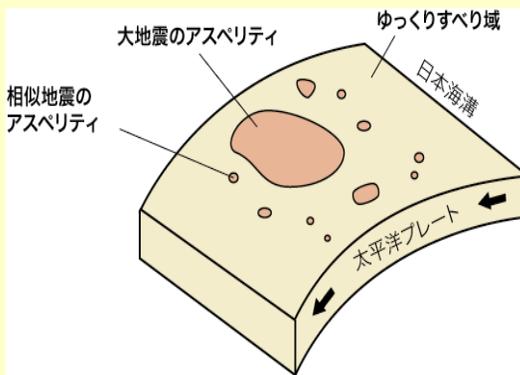
「団塊世代」の影響を、 波動として捉える。

団塊世代の影響を波動として捉える①



団塊世代という「アスペリティ」が、 地殻変動を引き起こす。

波動として捉えた場合、団塊世代は、大地震を引き起こす「アスペリティ」的存在なのかも知れない。



アスペリティ(英: asperity)は、地震学において、震源域の中で大きくずれ、大きな揺れを起こす地震波が出ると考えられる部分を指す。断層面で、通常は強く固着しているが、地震時に大きくずれ動く領域。被害をもたらす強震動を左右するのが、アスペリティである。字義どおりには、荒々しさ、(言葉の)激しさ、(表面の)ざらざらしていること、などを表す名詞である。

～Wikipediaより～

従来の団塊世代論が持つ 1つの限界……

ジェンダー、ライフコース視点での団塊世代論



有信堂(2001年)

従来の団塊世代論

→ ジェンダー不在の世代論

団塊夫婦の「共通性」と「多様性」

団塊夫婦のライフコースに見られる共通性を、性別役割分業を前提に専業主婦化が進んだ点に求めている(一方で、共働きが増えた世代でもある)。

その団塊夫婦も向老期を迎え、定年、病氣・障害、死別といったライフイベントとの関連において、夫婦関係の多様化に直面しつつある。

「多様性」を捉える切り口として 「ライフコース」概念に着目

「ライフコース」とは

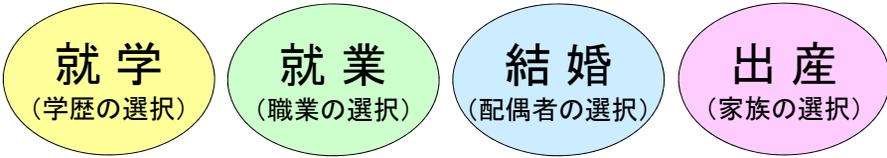
「ライフコース (life course)」
＝「個人が一生の間に辿る道筋 (人生行路)」

「個人の生涯における人生上の出来事 (life events) や
社会的役割の配列 (sequence) のこと」

Elder.G.H (1985)

時期が来れば自動的に次の段階に移行する「サイクル」ではなく、
特定の社会の中で、時代と格闘しながら、様々な個人が
それぞれの立場で構築していく人生の軌跡 (コース) の多様さを、
多様なままに捉えようとする概念。

“人生の道筋”としてのライフコース

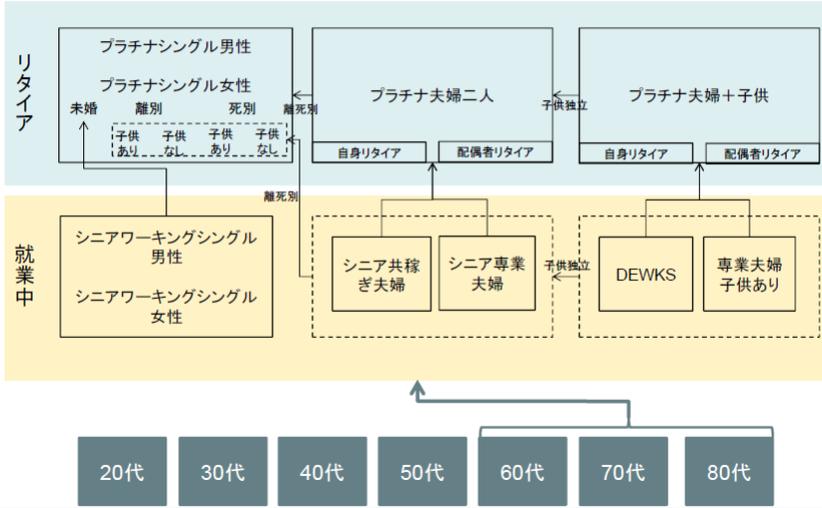


これらのライフイベントでの選択の結果(職業的・家族的な役割の取得の仕方)によって、様々なライフコース(人生行路)が描かれることになる

※「ライフステージ」はライフコースの一段階、「ライフスタイル」はライフコースとライフステージの交点における一断面、消費者属性はある時点での社会的・家族的役割のセットである。

シニア市場を分析するために
次のような「ライフコース」を想定

想定したライフコース

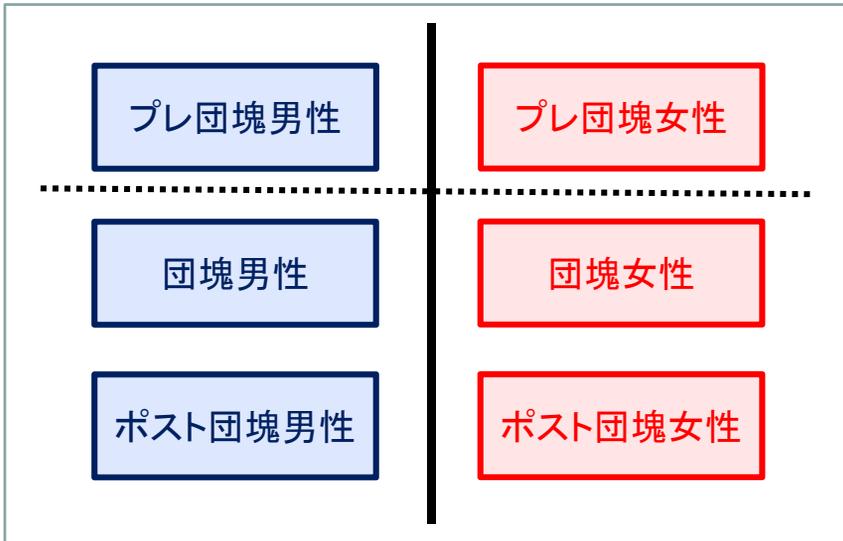


Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

2

昨年の第1期研究会では、
スーパー・ペルソナを作成

世代間の「断層」、男女間の「壁」



作成されたスーパー・ペルソナ(団塊世代・男性)

7.2%



岡崎 浩二 68歳

性別: 男性
居住地: 東京都
家族構成: 妻、長女(35歳)、長男(31歳)
年収: 500万円～1000万円未満
貯蓄: 1000万円～2000万円未満

経済的資源

ライフゴール
・妻と静かに余生を過ごしたい
・迷惑にならないように健康でありたい

心の拠り所は妻。言うなれば「愛」といったところでしょうか

ライフワーク	大学卒業後に大手企業に就職し、10年以上の勤務を経て、定年退職後の再雇用期間を満了した岡崎さんは、41年間の会社人生を助けたことを誇りに思っています。
時間的資源	完全リタイア後は、毎朝6時に起床し、血圧測定後に日頃のウォーキングに出かけます。折り返し地点でストレッチ。カメラを持参して静謐の公園でカワセミの観察と撮影をするのが楽しみです。日中は、テキストをしながら読書を楽しんでいます。日々暮らさずとも少し長い目で株債を眺めながらのんびりと暮らせる方法を考え中です。
健康資源	腰痛や手首、膝の痛みがありますが、ゴマカシゴマカシで毎日を送っています。毎年何回か大好きな登山に行くのですが、昨年は痛みが悪化しないよう見送りました。食事面では、免疫機能の向上のためにヨーグルトは欠かせません。野菜・果物も多く摂るよう心がけていますが、メタボからの脱却が課題です。
友人等	趣味の合唱団仲間や学生時代のクラスメートとは、時々飲み会を楽しんでいます。連絡手段はメールが殆どです。地域との交流はささやかな程度で、特にありません。
家族資源	夫婦の両親は共に既に他界しています。妻とは何でも話しています。家事の分担も行っていきます。旅行や映画、買い物から食事まで、ほとんど一緒に過ごしています。どこへ行くにも何をやるにも一緒といった感じです。
ライフゴール	娘とも仲が良いのですが、「結婚」の話を持ち出すと会話が進んでしまいます。息子はあまり会話がありません。二人には早く親戚れをしてもらいたいと思っています。
ライフゴール	娘の孫を見たいのですが・・・夢というかあきらめというか、 心の拠り所になっているのは「妻」 。やはり長年寄り添って暮らしてきた仲、 言うなれば「愛」といったところでしょうか 。子供は頼りにならないし、頼る気もありません。静かに余生を過ごす方がいいと思っています。経済も視野に入れています。邪魔にならないで健康でありたいと考えています。関わりは「普通の人の」と思ってもらえたらそれでよく、昨日と同じ今日、今日と同じ明日でありたいと思っています。
	そのために、日頃の早朝ウォーキングをこれからも継続してこうと思っている岡崎さんです。

Mifデータから推定された出現率は7.2%。男性の場合、prototype的なスーパー・ペルソナが描かれた。ライフ・ゴールに加えて、時間的資源、健康資源、家族資源等がペルソナを規定している。

© 学習院大学 青木研究室

20

作成されたスーパー・ペルソナ(団塊世代・女性)

0.5%



今村 節子 64歳

性別: 女性
 原住地: 茨城県
 家族構成: 夫、犬
 世帯年収: 500万円～1000万円未満
 貯蓄: 1000万円～2000万円未満

経済的資源

ライフゴール

・夫と共に心地よく過ごしたい
 ・生きがいをもち、精一杯生きていきたい

夫の休みの日には、何もできません

ライフ

アラ

ト

シ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

ド

ウ

ン

「シナリオ分析」とは

シナリオ分析とは、「起こりうる複数の外部環境シナリオ」を考案し、それに基づいて戦略を導出する手法のこと。

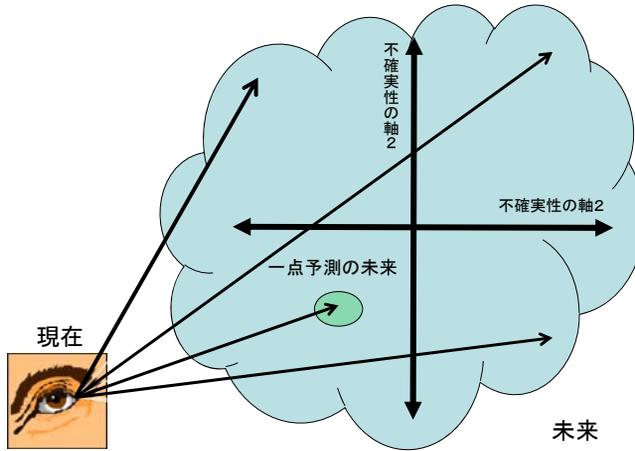
シナリオ分析の中核をなす「ワークショップ」では、事業環境の変化を生じさせる「ドライビング・フォース」(構造変化を推進する要因)を明らかにし、また、「不確実性の要因」を考慮することで、単なる過去の延長線上ではない「複数の未来事業環境(シナリオ)」を明らかにしていく。

また、単にシナリオの策定だけでなく、「そのような変化が起こった時に、どのような戦略をとるべきか」という戦略的示唆を考察し、参加者間で共有するツールでもある。

シナリオ分析の特長

- ある事象に影響を及ぼすさまざまな要素(ドライビングフォース)の精査を通じて、将来起こりうる複数のシナリオを考える。
- ✓ ある事象の未来について、たった1つの予測解を求めるのではない(予測解が1つの場合、それが外れると、戦略の軌道修正が必要になる)。
- ✓ 代替的なシナリオを複数持ち、将来に備えることでリスクを分散させ、環境変化に対応していく。

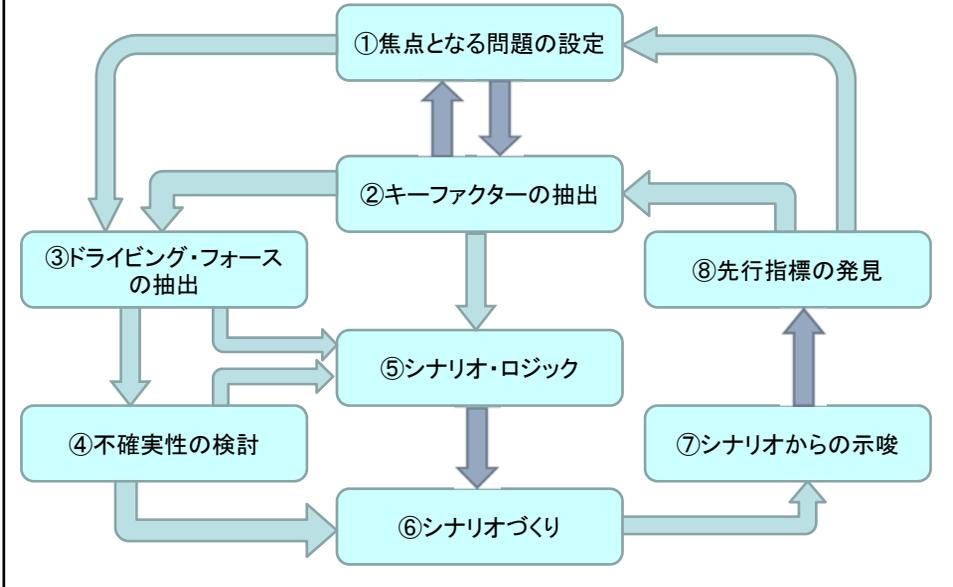
シナリオ分析における「未来」の捉え方



1点予測で「未来」を捉えるのではなく、「起こってもおかしくない未来」を複眼的に捉えることによって、「不測」の事態に陥ることを避ける。

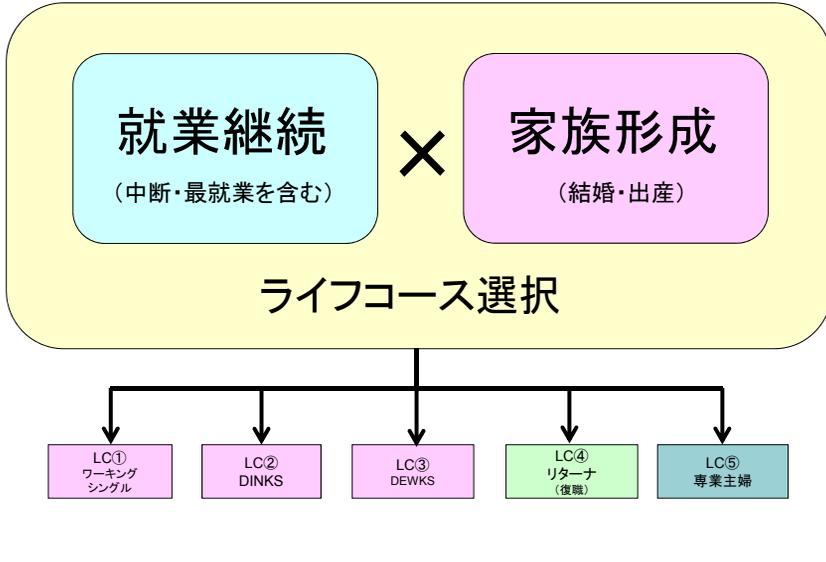
シナリオ分析の流れ

シナリオ分析の流れ



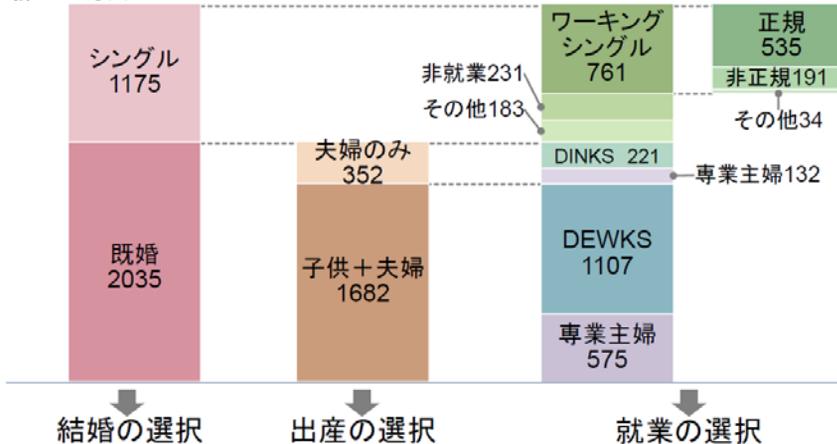
2020年における 女性のライフコース予測の例

2つのキー・ファクターに注目



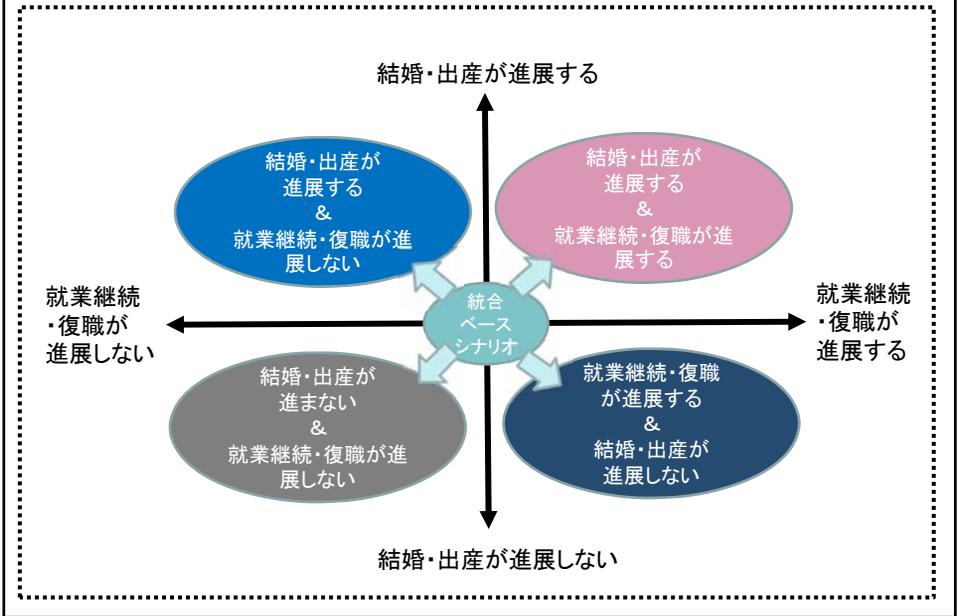
ライフコースセグメントはどう変わるか

20~59歳女性のライフコース別人口の内訳(2010年) 単位:万人
計3210万人



注: DINKS=Double Income No Kids (子供のいない共働き夫婦)、DEWKS=Double Employed With Kids (子供を持つ共働き夫婦)
出所: 国勢調査、就業構造調査、(株)三菱総合研究所・生活者市場予測システム(mif)より作成

シナリオ・ロジックの設定



4つのシナリオを作成



シナリオをベースに ソリューション評価を行う

消費のオケーションからソリューション・アイデアを導出する

『2020年、結婚・出産が進展、さらに、就業継続・復職も進展していた』(Aチーム)

ターゲット ⇒ 30代DEWKS

ターゲットに提供する価値		ソリューションアイデア (MROCでの評価対象項目)	投票数 (注)
平日忙しくても栄養のある食事 (お母さんの手料理)	簡単だけど手作り感。手作り料理を簡単に保存・利用。時間(場所も)フレキシブルに。それぞれに好みの味	自分でフリーズドライ (自分の手作り料理を簡単にフリーズドライできる機械)	15
朝時間 身支度をすばやく美しく	すばやく美しく その日の気分でおしゃれ	瞬間髪乾かし装置 (頭からかぶると濡れた髪が瞬間的に乾く装置)	10
		なりきりメイクシート (顔にびたっと貼るだけでメイクができあがるシート。その日の気分で、メイクのパターンを選べる)	4
たまった家事を週末にせず家族のために使いたい	子供と楽しみながら家事を	ゲームフィケーション家事 (親子で、ゲーム感覚で楽しく家事ができる。家事に使う洗剤は子供にも安全なもの等の配慮もあり)	5
イベント消費 (贈り物、感謝)	企画の手間なくオリジナル企画代行	イベント企画コンシェルジュ (オリジナルのイベントを企画してくれるサービス。日頃お世話になっている親や近所の方に、「いつもありがとうございます」と伝えるイベントなど)	1
家事の時短		洗濯もの自動たたみ機	2

シナリオをベースに消費のオケーションを考え、ソリューション・アイデアを導き出す

本研究会における道具立ての特長

- **ハイブリッド** 定量(mif) + 定性(MROC)
シナリオ分析 + ペルソナ
- **シームレス** mifデータ → シナリオ分析 → MROCでの検証
シナリオ分析 → MROC → ペルソナ
シナリオ分析 → mifデータでの検証

	定量調査 	定性調査 
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮説検証・受容度の量的評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題仮説・潜在ニーズの抽出 ● 定量評価の裏付け
対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社保有3万人生活者モニター 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回は、常設の女性リサーチコミュニティ(20-70歳、200名参加)を対象
方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 3万人モニターに対する2,000問の生活者情報の分析(2011年以降4年分蓄積) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板、アンケート、投票、デプスインタビュー、写真のアップなどを活用して議論や意見交換を実施
得られる示唆	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題に応じて、3万人の詳細なセグメンテーション分析が可能。本当に知りたい生活者の意識・行動を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ● 議論や意見交換から、リアルな生活実態・本音を把握 ● 仮説を提示し、消費者の反応・意見をタイムリーに聴取することも可能(常設のため)

詳しくは、
この後事務局からご説明

いつも申し上げていることですが

ライフコースの変化は市場構造変化の淵源



Ex. マントル対流、プレート移動

Ex. 造山活動、地形変化

Ex. 地震、噴火

喩えて言うならば、「ライフコース論」は、地球物理学における「プレート・テクトニクス理論」のようなもので、人びとは「地震」といった現象には関心があるが、その背後にあるメカニズムを理解しようとはしない。

「ライフコース」という思考の補助線を引く



筑摩書房(2008)

……問題の総量は減らないにしても、見え方が変わるということはある。ちょうど、幾何学の問題で、たった一本の補助線を引いただけで、解答への道筋が見えるように、「思考の補助線」を引くことで、私たちは今までとは少し違った態度で、世の中の謎に向き合うことができる。……

「ライフコース」という思考の補助線を引くことで、混沌とした市場の謎に少し違った態度で臨むことができるのでは……

ご清聴有り難うございました。